■ラスカット使用上のご注意

- ラスカットは、正しい施工と塗装の定期的な塗り替え等のメンテナンスが行われないと商品の性能が発揮されず、不具合が発生する場合があります。標準施工法に基づいて専用コーキング等の指定部材を必ず使用し、正しい施工を行ってください。
- 建物の耐久性向上のため、断熱材及び防湿層の施工を確実に行ってください。
- 標準施工法以外で施工した物件の苦情･お取り替えには応じかねますので、あらかじめご了承ください。
- ラスカットは建物高さ13m以下で、建築基準法21条、同施行令129条の2、その他関係する法および条例等に基づいた住宅でご使用ください。
- 下屋のある外壁の2階部分は耐力壁にはなりませんのでご注意ください。

■使用禁止場所

- 以下のような場所にはラスカットを使用しないでください。変形、劣化、モルタルの割れ等を生じることがあります。
  - ○屋根、傾斜パラペット　○煙突への施工　○床面、天井面
  - ○裏面から水のかかる場所　○営業用浴室及びこれに準ずる場所
  - ○常時水のかかる場所

■防火性能及び壁倍率

ラスカット　モルタル塗りの防火性能一覧

防火性能	モルタル種類	塗り厚	適応下地及び工法		認定番号
準防火構造	モルタスI(専用モルタル)および雅奨モルタル	10mm以上	木造軸組	通気工法	PC030BE-0002を使用
防火構造	モルタスI(専用モルタル)および雅奨モルタル	10mm以上	木造軸組	直張り	PC030BE-0001 ※1
				通気工法	PC030BE-0002 ※1
					PC030BE-0302 ※1
		16mm以上	鉄骨下地	直張り	PC030BE-9191 ※2
45分準耐火構造	モルタスI(専用モルタル)および雅奨モルタル	10mm以上	木造軸組	通気工法	QF045BE-0003 ※1
				直張り・通気工法	QF045BE-0240 ※1
		16mm以上	木造軸組	直張り	QF045BE-9210 ※2
			鉄骨下地	直張り	
1時間準耐火構造	モルタスI(専用モルタル)および雅奨モルタル	17mm以上	木造及び鉄骨下地	直張り	QF060BE-9212 ※3
		16mm以上	木造軸組	通気工法	QF060BE-0008 ※1

※1　指定の内装仕様(P.10参照)をする必要があります。
※2　告示に定められた内装材(P.10参照)を施工する必要があります。
※3　告示に定められた内装材(P.10参照)を施工し、壁内にグラスウール50mm厚以上を使用する必要があります。

ラスカット　タイル張り工法の防火性能

防火性能	製品厚さ	タイル仕上げ厚さ	適応下地	根拠となる法令
防火構造	9mm・12mm共通	モルタル＋タイルの合計25mm以上※4	木造及び鉄骨下地	建設省告示第1359号第1第1号ロ(2)(iv) ※5
45分準耐火構造			木造及び鉄骨下地	建設省告示第1358号第1第3号ロ(3) ※6

※4　タイル張り工法は、タイル張り用既調合モルタルをご使用ください。樹脂系の接着剤を使用した場合は、防火構造・準耐火構造に適合しないと判断される場合があります。
※5、6　屋内側に、告示に定められた内装材(P.10参照)を施工する必要があります。

ラスカットの壁倍率

壁倍率	製品厚さ	工法		認定番号
2.5	7.5mm、9mm、12mm共通	木造軸組工法	直張り仕様(大壁)	平成12年5月26日建設省東住指発第226号
			受材仕様(真壁)	
			通気受材仕様(通気工法)	
4.0	7.5mm、9mm、12mm共通	木造軸組工法	通気受材仕様(通気工法)	FRM-0049

■推奨モルタル

商品名	製造メーカー	モルタル混和剤	塗装	タイル
ラスカル	昭和電工建材(株)	ハイモルエマルジョン	○	×
ライトモルタル	太平洋マテリアル(株)	モルトップエマルジョン	○	○
ラスモル	富士川建材工業(株)	シーレックス	○	△

- 推奨モルタルについては、各社の仕様に基づいてモルタル混和剤を現場調合したモルタルをご使用ください。
- 目地補強ネット、モルタル混和剤についてはモルタルメーカー純正品も使用可能です。
- 推奨モルタルメーカーの指定モルタル以外を使用された場合、モルタルの不具合等については当社及び推奨モルタルメーカーではご相談を受けかねますので、あらかじめご了承ください。
- 発泡スチロール系骨材を使用した現場調合モルタルの使用は、ラスカットと密着不良を生じやすいので避けてください。

建築確認申請時に必要な弊社商品の各種認定証をダウンロードすることもできます。ネット検索は…　ノダ　検索